



株式会社 三恵建設 安全衛生協力会

令和2年度 安全大会中止に伴う 安全推進講習資料配布について

はじめに

常日頃は 安全衛生活動へのご協力に 心より感謝申し上げます。

さて 毎年6月に実施されている安全大会は 今般の社会状況を鑑み  
本年度は中止となりました。

その代替りとして本年度は 安全推進資料を弊社ホームページより閲覧していただくことで  
安全推進講習に代えさせていただきます。

令和2年度安全週間スローガン

『 エイジフレンドリー職場へ！みんなで改善 リスクの低減 』

### 目録(添付資料)

1. 令和2年度全国安全週間実施要綱について
2. 八王子労基署管内 労働災害発生状況
3. 健康診断の結果に基づく労働者の健康確保
4. コロナ対策+熱中症対策
5. 職場のKY活動マンネリ化チェックリスト

以 上

## 令和2年度全国安全週間実施要綱について

全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来、『人名尊重』という崇高な基本理念のもと、『産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること』を目的に、一度も中断することなく続けられ、今年で93回目を迎えます。

この間、事業場では、労使が協調して労働災害防止対策が展開されてきました。この努力により、労働災害は長期的には減少しており、令和元年の労働災害については、前年を下回る見込みであるものの、死傷災害のうち、**60歳以上の労働者が占める割合は増加傾向**にあり、平成30年度より取組期間が始まった、第13次労働災害防止計画における死傷者数の目標達成に向けては、更なる取組が求められます。

また、健康寿命と共に職業生涯が延伸し、高年齢労働者が職場においてより大きな役割を担うようになる中、**多様なニーズを持つ高年齢労働者が安心して安全に働くことができるよう職場環境を改善していくことが求められることから**、厚生労働省では、高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドラインを策定することと、中小企業を支援するエイジフレンドリー補助金を創設し、職場改善の取組を促すこととしてます。

このような状況から、更なる労働災害の減少を図ることを決意して、令和2年度全国安全週間は下記のスローガンの下で取り組むこととなっております。

スローガン

**【 エイジフレンドリー職場へ！みんなで改善 リスクの低減 】**

※エイジフレンドリーとは 『高齢者の特性を考慮した』という意味です。

# 労働災害発生状況

## 平成31年（令和元年）上半期

八王子労働基準監督署

八王子労働基準監督署における、平成31年（令和元年）の休業4日以上労働災害は、上半期（1月～6月）で**257人**であり、前年同時期より**18人の増加**となっています。

事故の型別では、**動作の反動・無理な動作**（24人増）、**はさまれ・巻き込まれ**（19人増）などが増加となっています。

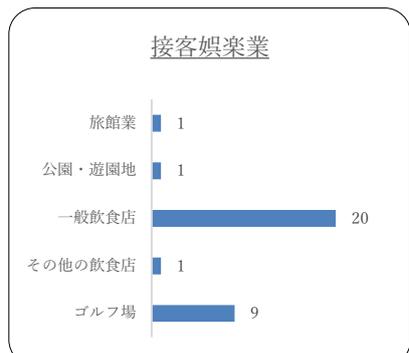
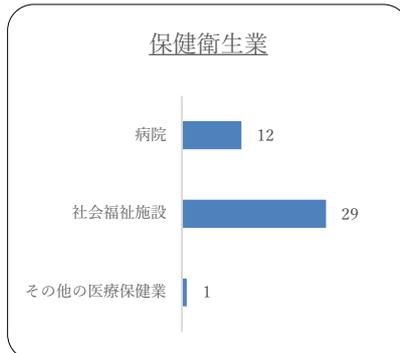
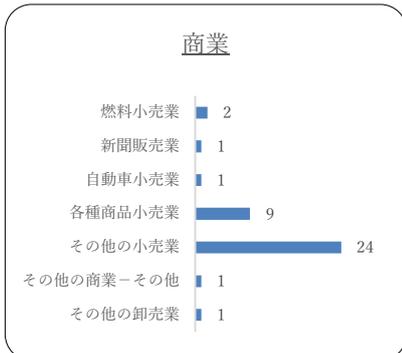
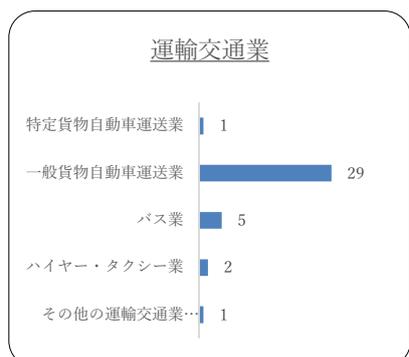
### I 休業4日以上労働災害発生件数

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (6月末)	前年同期
製造業	54	52	53	51	49	18	21
食料品製造業	12	18	20	17	18	7	8
建設業	90	113	75	75	83	32	27
運輸交通業・貨物取扱業	83	59	72	81	113	42	51
道路貨物運送業	60	46	49	55	64	30	30
第三次産業	354	368	363	356	383	162	137
小売業	89	84	96	84	85	38	30
社会福祉施設	62	58	67	64	65	28	20
飲食店	32	32	30	35	35	21	14
ビルメンテナンス業	18	22	18	21	24	9	6
その他の第三次産業	153	172	152	152	174	66	67
上記以外（農業等）	10	7	8	8	9	3	3
合計	600	609	582	579	637	257	239

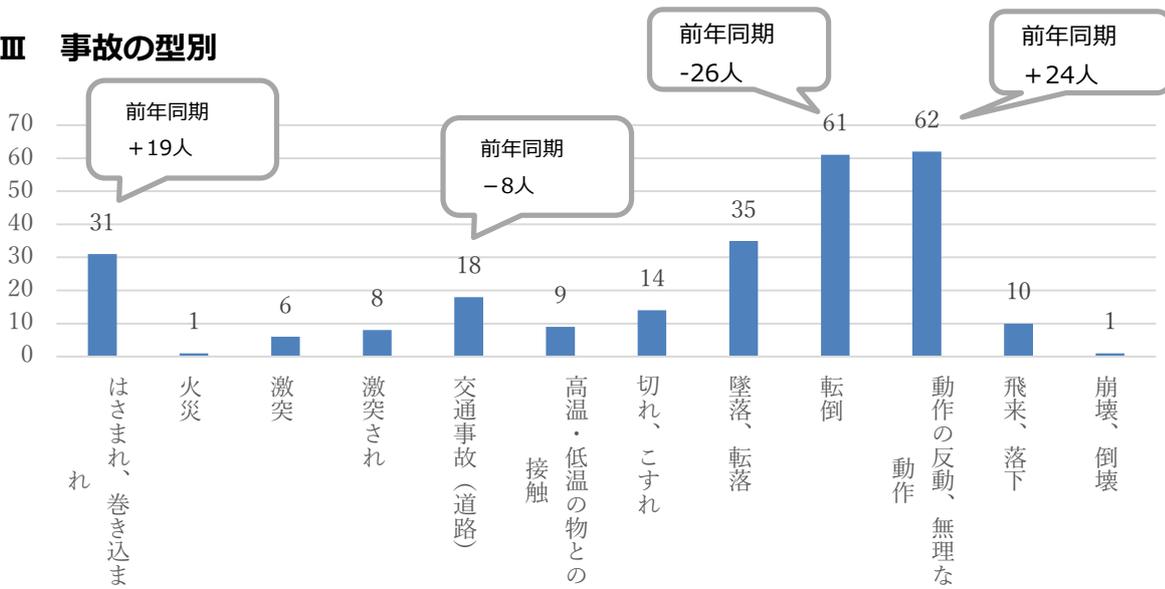


第13次労働災害防止計画における八王子署の目標値は**550人**です。

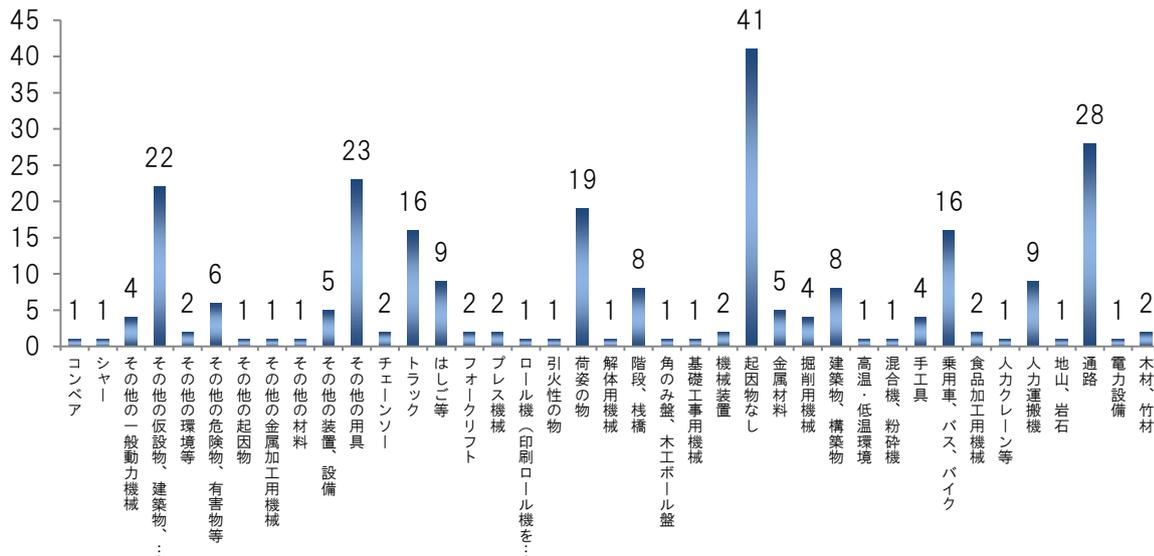
### II 業種別（小分類）



### Ⅲ 事故の型別



### Ⅳ 起因物別



### Ⅴ 死亡災害発生状況

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 (6月末)
製造業						
建設業		1	2	1	2	
運輸交通業・貨物取扱業		1	1			
第三次産業				1	2	1
全産業	1	2	3	2	4	1

#### 平成31年の死亡災害事例

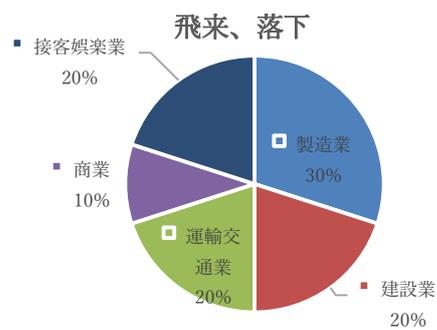
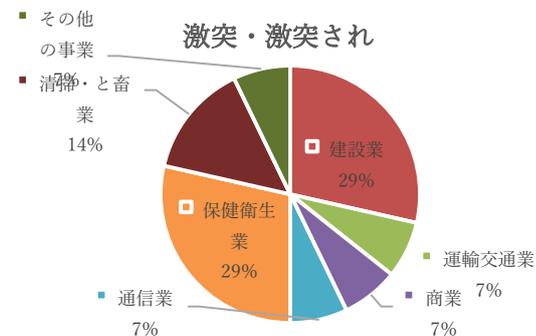
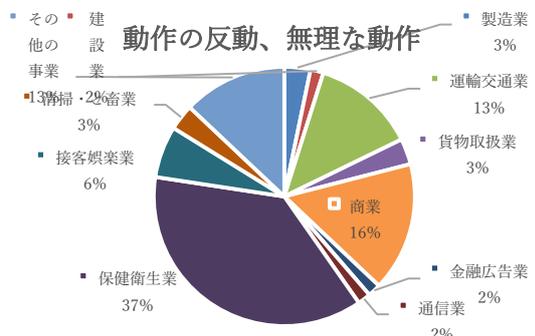
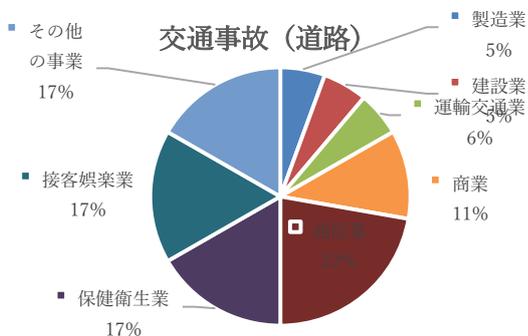
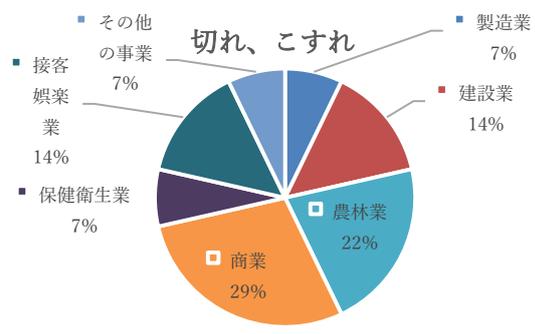
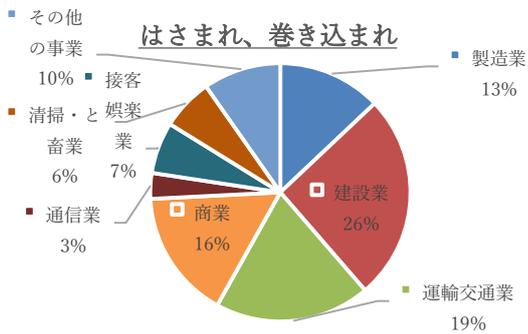
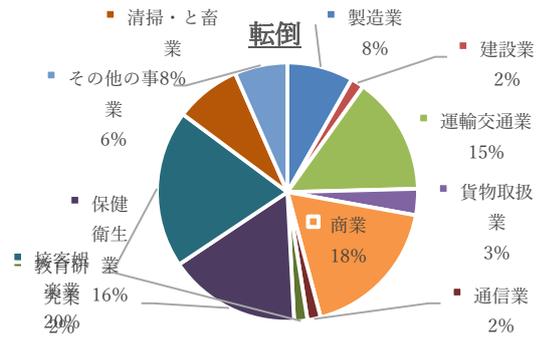
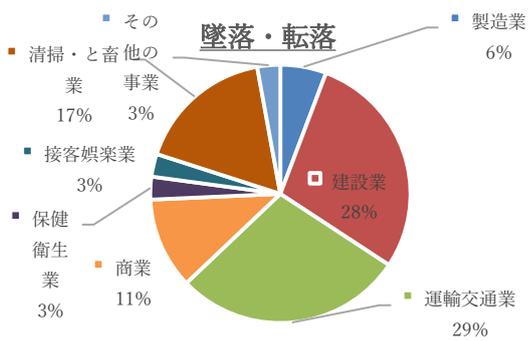
業種	事故の型 起因物	概要
	ビルメンテナン ス業	

ビルメンテナン  
ス業

概要

ブランコ作業にて5階建てビルのガラス清掃を行っていたところ、メインロープが支持物から外れ、ライフラインを設けていなかったためビル5階部分より墜落し、搬送先の病院で死亡が確認されたもの。

## VI 業種別・事故の型別発生状況



## 健康診断の結果に基づく労働者の健康確保

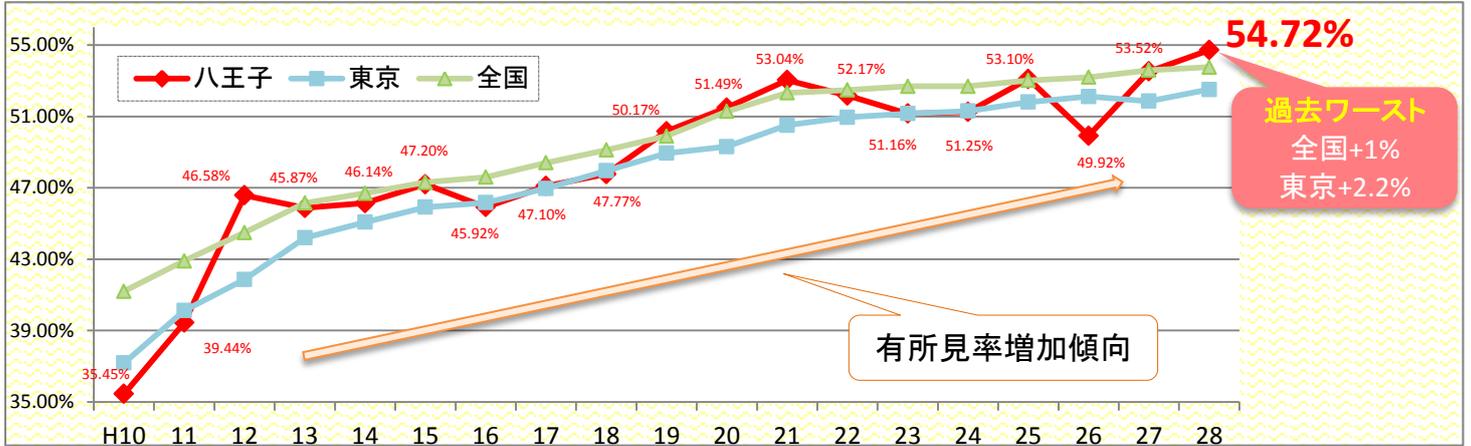


<健康で働き続けられる職場づくり>

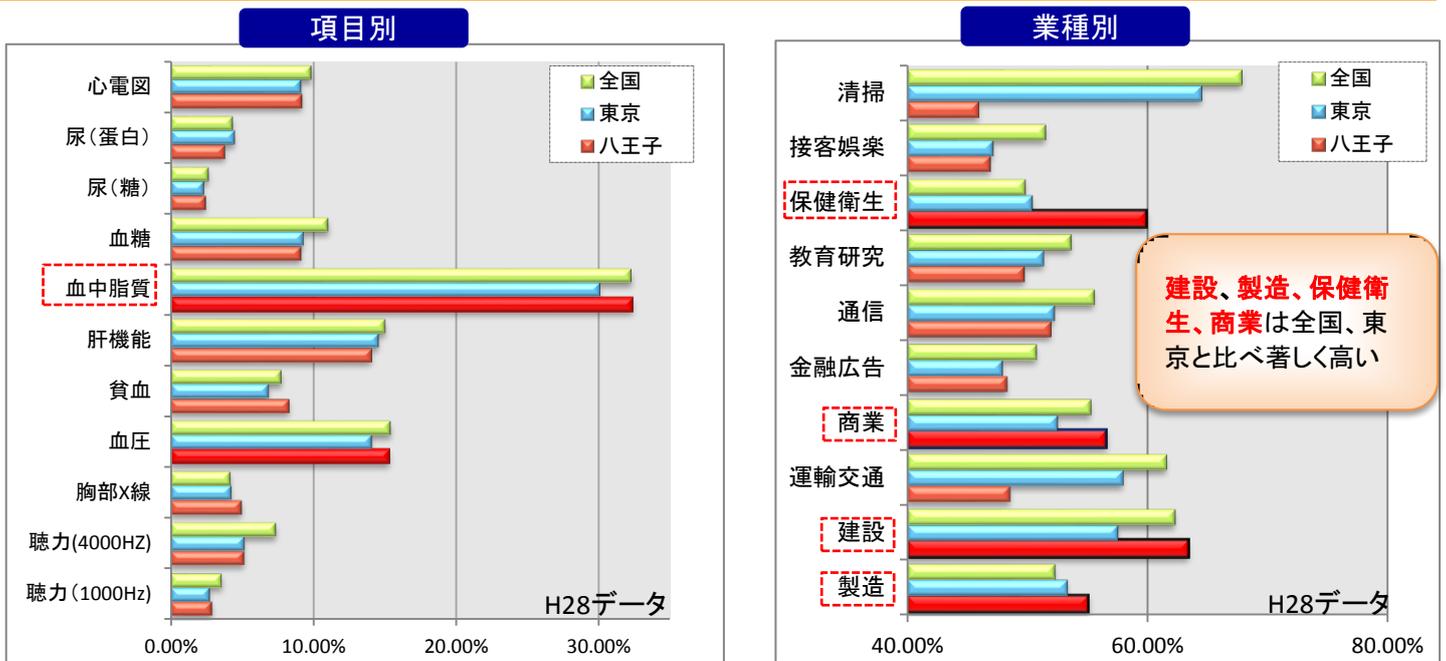
八王子労働基準監督署

### 健康診断の状況

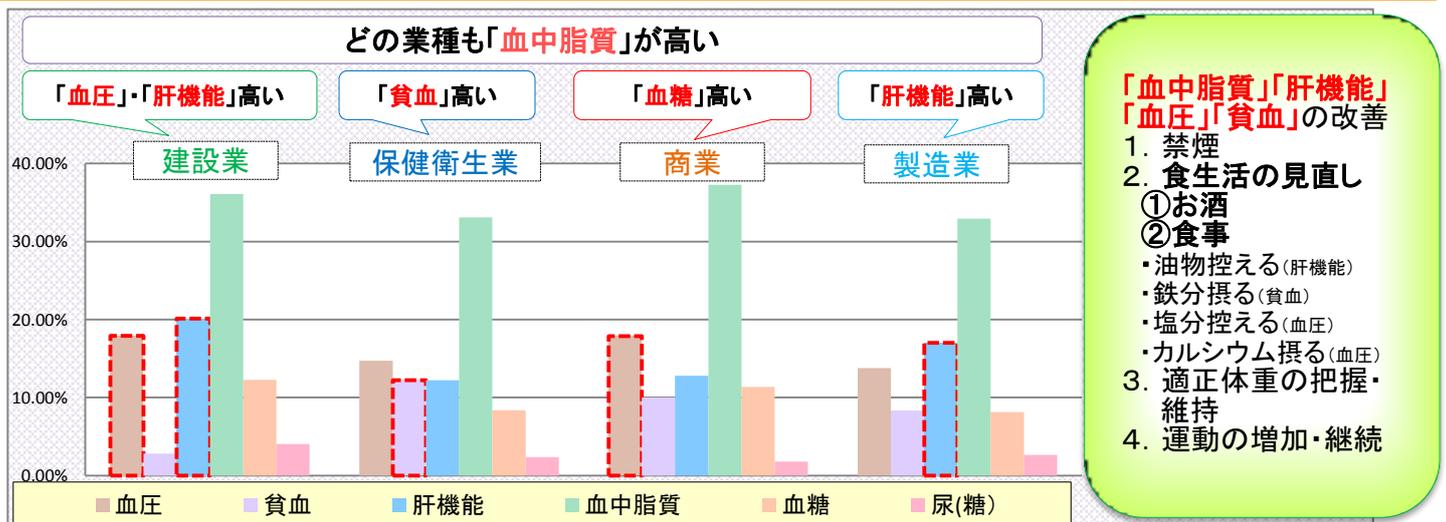
\* 有所見率は年々増加傾向にあり、H28は過去最も高い有所見率



\* 健診項目別、業種別有所見率



\* 八王子署管内で有所見率の高い業種の「項目別有所見率」



# 健康診断は、結果後の対応(事後措置)が重要です！！

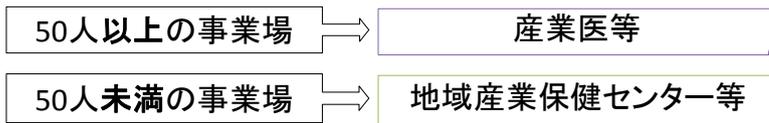
## \* 異常の所見があると診断された者の健診後の流れ 労働安全衛生法第66条の4,66条の5



### 就業区分に係る意見を聴取し、就業上の措置を決定

就業区分		就業上の措置の内容
区分	内容	
通常勤務	通常の勤務でよい	
就業制限	勤務制限を加える必要のある	勤務負荷の軽減の為、労働時間の短縮、出張制限、時間外労働の制限、労働負荷の制限、作業・就業場所の変更、深夜業の減少、昼間勤務への転換等の措置
要休業	勤務を休む必要のある	療養のため、休暇、休職等により一定期間勤務させない措置

### 意見を聴く医師等



ご利用の際は  
**八王子地域産業保健センターへご連絡を！**  
 電話042-622-4122 意見聴取等、提供のサービス**無料**

### 聴取した意見を個人票へ記録

健康診断個人票	
健診年月日	○年 ○月○日
医師の診断	要観察
健康診断を実施した医師の氏名印	○○ ○○
医師の意見	就業制限 時間外労働の制限
意見を述べた医師の氏名印	○○ ○○ (産業医)

医師の意見欄に記入を求める

※労働者の正しい健康状態確認するためにも、健診を適切に受診するよう指導してください。  
 (飲酒、喫煙、激しい運動の禁止、十分な睡眠、健診前の食事・飲食の制限、薬の投与)

## \* 医師や保健師による保健指導に実施に努める

労働安全衛生法第66条の5

### 3つの改善ポイント

- ① 食生活の改善
- ② 飲酒・喫煙習慣の改善
- ③ 運動の改善

※労働者が強い自覚を持って日常生活を送る必要性あり  
 労使一体での取組(労働者の意識改革、動機付け)

会社としても、出来ること

- ・協会けんぽや健康組合等と連携
- ・朝礼、会議等で健康について触れる
- ・個人面談や健康セミナーの参加
- ・体力測定の実施(健診と合わせて)
- ・食堂委託会社と連携し、栄養改善
- ・体操やストレッチの導入

特に脳・心臓疾患に係る項目(血中脂質、血圧、血糖、尿中の糖、心電図)、毎年悪化している者等重点的に！

## \* 実施後は管轄の監督署に結果報告を

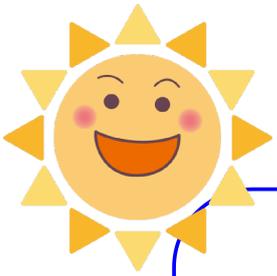
労働安全衛生法第100条

常時50人以上の労働者を使用する事業者は、健康診断を行ったときは、遅滞なく、所轄労働基準監督署長に提出しなければなりません。



### 厚生労働省ホームページよりダウンロード

ホームページトップページより  
 →[労働基準]をクリック →[事業主の方へ]をクリック  
 →[安全衛生関係主要様式]をクリック



暑くなってきました

これから夏本番にかけて

**コロナ対策** + **熱中症対策**  
二つの対策が必要です

一般財団法人全日本ろうあ連盟  
新型コロナウイルス危機管理対策本部  
医療支援チーム

2020.5.13



## いつも以上に**熱中症**に気を付けましょう！

1. 今年は、新型コロナウイルス感染症対策のため、室内にすることが多く、体が暑さになれていません
2. マスクの中に熱がこもり不快ですが、感染予防のために**マスクは必要**です
3. マスクの中は湿度が高く、のどが渇きにくい状態です



## 今年の熱中症対策はどうしたらいいの？



1. のどが渇いていなくてもこまめに水分を補給する
2. 日射しが強いときは日傘をさす・帽子をかぶるなどの工夫が必要（男性も）
3. 涼しい所でマスクを外して体を冷やす
4. 半袖やノースリーブ・ノーネクタイでなるべく肌を出す涼しい服装にする

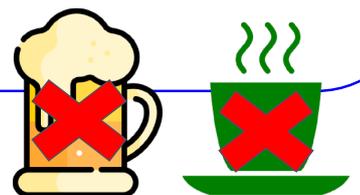


## 室内でも熱中症になる危険があります

- ①室内への遮熱（しゃねつ）対策（例えば、カーテンやすだれど）を考えましょう
- ②暑い日には我慢せず、**エアコン**や**扇風機**を利用しましょう
- ③こまめに**水分補給**をしましょう

注意：お茶やアルコールは水分の補給に適していません。

0.1%~0.2%の食塩水やイオン飲料、経口補水液（スポーツドリンクなど）を摂るようにしましょう。



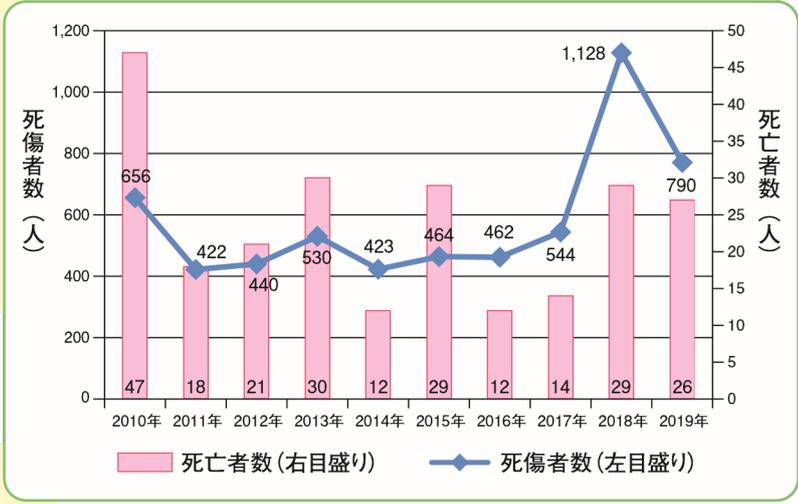


# 熱中症は、さまざまな業種、さまざまな状況で発生します



## 職場における熱中症による死傷者数の推移

職場における熱中症による死傷者数は2011年以降、高止まりで推移してきましたが、2018年は一気に1,000人を超え、2019年も約800人と厳しい状況が続いています。



※2018年は2019年1月末時点の速報値

**暑さ指数 WBGT値**  
を知って  
**熱中症予防!**

**熱中症予防のための行動指針**

<p><b>危険</b></p>	<p>WBGT値 <b>31℃以上</b> <b>Danger!</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● できかぎり、風通しがよく涼しい場所に移動しましょう。</li> <li>● 高齢者においては安静状態でも危険性が高くなります。</li> </ul>
<p><b>嚴重警戒</b></p>	<p>WBGT値 <b>28~31℃</b> <b>Severe Warning!</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 熱中症の危険性が高いので、気温の上昇に注意しましょう。</li> </ul>
<p><b>警戒</b></p>	<p>WBGT値 <b>25~28℃</b> <b>Warning!</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 熱中症の危険性が増すので、激しい運動や作業をする際は、定期的に充分な休息をとり、水分を補給しましょう。</li> </ul>
<p><b>注意</b></p>	<p>WBGT値 <b>25℃未満</b> <b>Caution!</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 激しい運動や重労働時には熱中症が発生する危険性があります。</li> <li>● 熱中症の兆候に注意しながら定期的に水分を補給しましょう。</li> </ul>

これらの分類は日常生活の上での基準です。労働の場では、作業負荷、暑熱環境、着用衣服などの条件を考慮する必要があります。

## WBGT計で確認しよう!

気温はそれほど高くなくても、湿度が高い時には熱中症にかかる危険度が高まります。熱中症は、気温・湿度・風速・輻射熱が複雑に影響し合って起こります。

WBGT(湿球黒球温度)で示される暑さ指数の単位は、気温と同じ摂氏度(℃)ですが、その値は気温とは異なります。熱中症対策の指標として、WBGT計で確認しましょう。



# 職場のKY活動 **マンネリ化** チェックリスト

あなたの職場のKY活動はマンネリ化していませんか。誰一人ケガをしない、させないためには、管理監督者から作業員まで、職場のみんなが「よし、やろう」という活動でなければなりません。KY活動について経営者、管理者、監督者が理解し率先垂範しなければ、やらされ感が生じて、テーマや内容がいつも同じになるなど、何のためのKYかわからなくなります。これをマンネリ化と呼び、「KYはやっているが事故が減らない」「KYのテーマと同じ内容の事故が起こっている」ということになってしまいます。

あなたの職場はいかがでしょう。職場の状況と、管理監督者の問題点をこのチェックリストでとらえ、みんなで話し合っ、安全先取りの職場をつくりましょう。



## 1 みんなであいさつをしていますか

- ① はっきり聞こえる声でしている
- ② お互いの顔を見てしている

ハイ	イイエ
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

## 2 朝・終礼(ミーティング)のようすはどうか

- ① みんなが参加して毎日やっている
- ② 健康状態を問いかけて確かめて配慮している (目が赤いけどどうしたの? など)
- ③ リーダーの一方的な伝達の場ではなくメンバーも発言している
- ④ ヒヤリ・ハットを報告している
- ⑤ 指差し唱和やT&Cなどで一体感を高めている

ハイ	イイエ
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

## 3 作業指示はどうしていますか

- ① 特に「なぜ」「何を」「どのように」を踏まえて指示している
- ② 「わからないことはないか?」と作業員の疑問点に答えている
- ③ わからないことがあれば指示者に遠慮なく質問させている
- ④ 指示受け者に5W1Hで復唱させて指示が誤りなく伝わったことを確かめている

ハイ	イイエ
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

## 4 毎日のミーティングにKYが組み込まれていますか

- |                                     | ハイ                       | イイエ                      |
|-------------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| ① 毎日KYをしている（たまにやるKYではない）            | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ② 自分たちがケガをしないためにやることだと知っている         | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ③ メンバー全員が発言している（リーダーが発言をうながしている）    | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ④ メンバー全員の合意で進めている（リーダーが一方向的に決めていない） | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

## 5 作業にKYが活かされていますか

- |                               | ハイ                       | イイエ                      |
|-------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| ① KYが事故防止に役立っている（事故は減少している）   | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ② KYで決めたチーム行動、指差し呼称を現場で実施している | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ③ 整理整頓を自ら行っている                | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ④ 危ないことを見かけたら「危ない」と注意し合っている   | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑤ 職場の問題をみんなで話し合っている           | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

## 6 経営者、管理監督者はKY活動を支援していますか

- |                                      | ハイ                       | イイエ                      |
|--------------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| ① 職場のKY活動に関心を持っている                   | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ② 職場を毎日巡回している（管理監督者）                 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ③ 作業者にねぎらいの声をかけている                   | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ④ 作業の危険や対策をたずねて危険について一緒に考えている（管理監督者） | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑤ 危険なようすを見て見ぬ振りをしないで注意している（管理監督者）    | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

KY活動は、自分が、仲間がケガをしないためにやるのです。そのためには、みんながホンネで話し合い、自らの問題だと自覚することが大切です。そして管理監督者は、適切な作業指示を行うとともに、この活動が適切に行われているかどうか強い関心を持ち、それを支援することが重要です。この二つがあいまって効果的なKY活動となります。

特に2、3、6でそれぞれ半分以上の設問に「イイエ」のチェックが付いたり、全体で「イイエ」のチェックが多く付いている場合には、あなたの職場のKY活動はマンネリ化して、職場の安全衛生管理が形骸化しているおそれがあります。中央労働災害防止協会にご相談ください。

### 【連絡先】

中央労働災害防止協会	ゼロ災推進センター	TEL 03-3452-6259
	北海道安全衛生サービスセンター	TEL 011-512-2031
	東北安全衛生サービスセンター	TEL 022-261-2821
	関東安全衛生サービスセンター	TEL 03-5484-6701
	中部安全衛生サービスセンター	TEL 052-682-1731
	中部安全衛生サービスセンター 北陸支所	TEL 076-441-6420
	近畿安全衛生サービスセンター	TEL 06-6448-3450
	中国四国安全衛生サービスセンター	TEL 082-238-4707
	中国四国安全衛生サービスセンター 四国支所	TEL 087-861-8999
	九州安全衛生サービスセンター	TEL 092-437-1664

